









## 1 ヒミツその1～その3 を使った授業のイメージ

## 1. 家庭で使うお金は家族が働いて得たお金で、お金を稼ぐことの大変さと大切さを考える。(ヒミツその1)

活動内容	留意点	教材
<p><b>教</b>：皆さんは、お金を使って買い物をしたことがありますか。家庭ではどうやって生活しているのか、お金の流れについて考えてみましょう。</p>		P.8 <b>WS</b> ① <b>1</b>
<p><b>児</b>：<b>WS</b>(働いて)得たお金で、(生活)費を支払う。」</p>		
<p><b>教</b>：家族や周りの人がどんな仕事をしてお金を得ているのか、マネーベルのヒントを手掛かりに働いている人の話を聞きに行きましょう。</p>		P.8 <b>WS</b> ① <b>2</b>
<p style="text-align: center;">★ワークの流れ★</p> <p>① <b>【Web】</b>「ヒミツその1」から、働いている人を見つけて話を聞く。</p> <p>② 見つけた職業のやりがいや苦労話から、思ったことを<b>WS</b>に記入する。</p> <p>③ Webから見つけた職業と、思ったことをグループ内で発表する。</p> <p>④ 友達の意見を聞いて、気付いたことを<b>WS</b>に記入する。</p>	<p>仕事は14種類あり、設定した時間内に興味のある仕事を数種類見てくるように伝える。</p>	 
<p><b>教</b>：(児童の意見を基に)家族が生活するために、働いて収入を得ていることを学びました。「かっこいい」「やってみたい」と思う職業でも、皆さんから見えないところで頑張ったり苦労していることが分かりましたね。そうやって得た収入を家庭ではどのように使っているのでしょうか。</p>		

## 2. 生活に必要なお金とは何かを理解する。(ヒミツその2)

活動内容	留意点	教材
<p><b>教</b>：家庭で何にお金を使っているか、皆さんで考えてみましょう。生活費にはどのようなものがありますか。</p>		
<p style="text-align: center;">★ワークの流れ★</p> <p>① 生活費にはどのようなものがあるか考えて、<b>WS</b>に記入する </p> <p>② <b>【Web】</b>「ヒミツその2」を手がかりに、さらに生活費を探し、<b>WS</b>に赤字で記入する。</p> <p>③ 見つけた生活費を発表する。自分が見つけられなかった生活費についても、情報を共有する。</p>	<p>買い物の経験や日常生活を思い出して考えさせる。</p> <p>なるべく12個全部のボタンを見られるように時間を設定する。</p>	P.8 <b>WS</b> ① <b>3</b>
<p><b>教</b>：生活するためには普段意識していないものにもお金がかかっています。家族が働いて得た収入には限りがあり、計画的に大切に使う必要がありますね。</p>		

3. 家族は、計画を立てて家計収支が釣り合うようにしていることに気付く。(ヒミツその3)		
活動内容	留意点	教材
<p><b>教</b>：今から、皆さんにWeb上の教材を使って、計画家の家の人になって、1か月のお給料で生活してもらいます。</p>		P.8 <b>WS</b> ② <b>1</b>
<b>★ワークの流れ★</b>		
<p>① <b>【Web】</b>「ヒミツその3」で「1か月分の料金をまとめて支払う生活費って？」に挑戦する。</p> <p>② <b>WS</b>：選択した項目に○を付ける。</p> <p><b>教</b>：生活費の中には、毎月決まって必要になるものがあります。給料が入ったら、その分をとっておかなければなりません。では、全員で給料日1日目を体験しましょう。</p> <p>③ <b>【Web】</b>給料日の1日目を全員で体験し、<b>WS</b>に当てはまる金額を記入する。</p>	<p>生活費の解説を読んだところでいったん止まるように指示する。</p> <p>固定費の言葉を押さえる。</p> <p>1日目までは、全員が同じ画面を体験し、財布に入れた金額と通帳額を確認してスタートさせる。</p>	 
<p><b>教</b>：次に、2日目から30日目まで、1か月の生活を体験してみましょう。</p>		
<b>★ワークの流れ★</b>		
<p>① <b>【Web】</b>2日目から30日目までのイベントを体験する。</p> <p>② 体験終了後、自分が支払った情報を<b>WS</b>に記入する。</p> <p>③ グループ内で発表。</p> <p>④ 友達の意見を聞いて、気付いたことを<b>WS</b>に記入する。</p> <p><b>教</b>：生活していく中でいろいろなことにお金を支払っていましたね。例えば、掃除機のように、おうちのものが壊れたとき、皆さんは何を選択しましたか？</p> <p><b>児</b>：貯金で新しい掃除機を買った。修理に出した。中古を買った。</p> <p><b>教</b>：ものが壊れたとき、すぐに新しいものを買うのではなく、他の人から譲ってもらったり、レンタルしたりする方法もありますね。</p> <p><b>教</b>：1か月の生活が終了してお金が余った人はどの位いますか。その余ったお金をどうしますか。</p> <p><b>児</b>：貯金する。翌月買う。</p> <p><b>教</b>：貯金は何のために必要だと思いますか？</p> <p><b>児</b>：いざという時のため。</p> <p><b>教</b>：目的をもってためることも大切ですね。お金をためるためには、余ったらためるのではなく、計画家のように先にためておくといいですよ。</p>	<p>残ったお金がいくらではなく、どのように考えて選択したのか分かるように話すように補足する。</p> <p>貯金の意義を考えさせる。</p> <p>貯金の目的は「いざという時のため」「夢や目標を達成するため」であることを伝える。</p>	<p>P.8 <b>WS</b> ② <b>2 3</b></p>    
<b>★見つける(まとめの学習)★</b>		
<p><b>教</b>：家の人、働いて得た大切な収入(お給料)と支出が釣り合うように計画を立ててお金を使っていることが分かりましたね。</p> <p><b>児</b>：<b>WS</b>に振り返りを記入する。</p> <p><b>児</b>：振り返りを発表する。</p>	<p><b>3つのポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収入と支出が釣り合うように計画的に使う。</li> <li>・必要なものと欲しいものを区別する。</li> <li>・貯金することも大切。</li> </ul>	<p>P.8 <b>WS</b> ② <b>4</b></p> 



### 3 Web版消費者教育読本を活用した授業展開例

#### 授業展開例-① 5年(内容 C) 題材名「じょうずに使おうお金と物」

●小題材名 「お金の使い方を見つめよう」

◇目 標

- ①金銭の大切さに気付きその使い方に関心をもつ。
- ②収入は労働の対価であり、生活を支えるためにいろいろな場面でお金が使われていることを理解する。

#### ■ 本時の展開

評 評価

学習過程	主な学習活動	指導上の留意点	教材
見つめる 【10分】	1. 家庭で使うお金は、どのように得ているか考える。  「ヒミツその1」導入を視聴し、本時のめあてを確認する。	○いろいろな物を購入した経験から、生活するためにはお金が必要であることを確認させる。 ○自分の家族では、どのように収入を得ているのかを考えさせ、家族が働いた得た収入で生活費を支払っていることに気付かせる。  <b>(生活を支えるお金)の大切さと使い方を考えよう</b>	ワークシート①
活動する 【25分】	2. 仕事とお金について考える。  「ヒミツその1」を視聴し、働いている人の話を聞き、自分の考えをワークシートに記入する。  全体で発表する。  友達の意見を聞いて、自分の考えが深まったり見直したりしたことを記入する。	○仕事は14種類あることを伝え、設定した時間内に興味のある仕事を数種類見てくるように指示する。 ○聞いた話をそのまま記入している児童には、自分の考えを記入するように声かけをする。 ○収入は労働の対価であり、どんな職業にも苦労がある。それでも一生懸命働いて収入を得ていることに気付かせ、家族への感謝の気持ちを持てるようにする。	Webヒミツその1 ワークシート①
	3. 生活費について考える。  生活費にはどのようなものがあるか考え、ワークシートに記入する。  「ヒミツその2」を視聴し、新たに気付いた生活費をワークシートに加筆する。  全体で発表する。	○買い物の経験や日常生活を思い出して考えさせる。 ○生活するためには普段意識していないところにもお金が必要であることに気付かせ、「お金には限りがあり、工夫して大切に使う必要がある」ことを押さえる。  評 金銭の大切さに気付き、その使い方に関心を持っている。(関心・意欲・態度)  評 収入は労働の対価であり、生活を支えるためにいろいろな場面でお金が使われていることを理解することができる。(知識・理解)	ワークシート① Webヒミツその2
生かす 【10分】	4. 学習を振り返り、発表する。  友達の考えを聞いて、自分の考えが深まったり見直したりしたことも記入する。	○自分の家庭生活を見つめ、今日学習したことを振り返られるようにする。	ワークシート①



## 授業展開例-② 5年(内容 C) 題材名「じょうずに使おうお金と物」

●小題材名 「お金や物の価値、その使い方を見つめよう」

◇目 標

- ①金銭の大切さに気付きその使い方に関心をもつ。
- ②必要な金銭の計画的な使い方について理解する。

### ■ 本時の展開

評 評価

学習過程	主な学習活動	指導上の留意点	教材
見つける 【10分】	1. 前時の学習を振り返る。  本時のめあてを確認する。	○生活に必要なお金は「家族が働いて得た収入によるもの」で、「お金には限りがあり、工夫して大切に使う必要がある」ことを確認する。  (お給料の使いみち)を考えよう	ワークシート②
活動する 【25分】	2. お給料の使い道を考える。  「ヒミツその3」を視聴し、1か月にまとめて支払う生活費が何か、ワークシートに記入する。	○場面設定を伝える。  計画家(父・母・中2・小5)の家の人になって、家族が働いて得たお給料(27万円)で1か月の生活費を管理する。  ○生活費の中には毎月必ず必要になるものがあることを気付かせ、先に収入から支払っておくことを伝える。  ○他にもお小遣い、貯金を先に引き、収入からそれらを支払った残りの金額がいくらになるか確認する。	Webヒミツその3  ワークシート②
	「ヒミツその3」を視聴し、1か月の生活費の管理を疑似体験する。	○Web版読本の使い方と注意事項を説明する。使える金額は87,000円、通帳には貯金が8万円入っている、前のイベントに戻ることはできないため、その場でしっかり判断するように指示する。  ○選択に戸惑っている児童には、自らの家庭を見つめて考えて選ぶように支援する。	Webヒミツその3  ワークシート②
	自分が支払ったものを班内で話し合い、全体で発表する。  発表を基に計画的なお金の使い方について考える。	○最終画面まで行くと支払い情報が出てくることを伝え、ワークシートに書き写すように指示する。  ○残ったお金がいくらかではなく、どのように考えて選択したのかを分かるように発表させる。  ○新しいものを購入しなくてもいろいろな考え方があることを知る(修理、レンタル、他人から譲ってもらうなど)。  ○余ったお金をどうするか発問し、貯金の意義について考えさせる(病気やケガ、大きな出費への備え、将来のため)。  ○家族の状況や商品の情報をよく見て、本当に必要かどうかよく考え、計画を立てて金銭を使う必要があることを理解させる。  評 金銭の大切さに気付き、その使い方に関心をもっている。(関心・意欲・態度)  評 必要なお金の使い方を理解している。(知識・理解)	ワークシート②
生かす 【10分】	3. 学習を振り返り、発表する。	○自分の家庭のことを考えて、振り返られるようにする。  ○友達の考えを聞いて、自分の考えが深まったり見直したりしたことも記入するように指導する。  ○お金には限りがあり、計画的に使うことに理解を深め、自分の生活(お小遣いやお年玉)などに生かしていくことの大切さを感じられるようにする。	ワークシート②